

釜ヶ崎のまちスタディ・ツアーのご案内

釜ヶ崎の実際や貧困地域のまちづくりを「学びたい」「役立ちたい」「良い報道をしたい」方におススメ

内容:

パワポでの事前解説+まち歩き+語り合い

完全オンライン版も開始!

(まち歩き部分はGoogle・ストリートビューを活用してガイド) 大学ゼミにも好評採用

オプション

+「紙芝居劇団むすび」や「こどもの里」なども仲介

+報道関係者研修コース

【報道関係者研修コース】

概要: あいりん地域に不慣れのまま報道することによる誤謬やトラブルが頻発するため、取材の前に同地域に関する正確な基本情報の提供やまち案内、及び目的に合った取材方法の提案や助言などを行なう。テーマによっては取材先(地元の諸団体や個人、研究者)につなぐことも。

構成: 通常のスタディ・ツアー+特別レクチャー(過去問題となった報道事例を紹介)+記事執筆段階でのアシスト。信頼関係ができれば、その後の取材にも諸情報の提供でご協力しています。



【目的】

- 1) ホームレス問題や釜ヶ崎(≒あいりん地域)でのまちづくりに関する現地訪問を受け入れ、相互理解(学びあい)を深めること。
- 2) それを通じて、社会と釜ヶ崎地域との架け橋となること。
- 3) 「おっちゃんガイド」や「人生の語り部」となってもらうことで、単身高齢者等の生きがいづくりや小さな仕事づくりに寄与すること。
- 4) 国内や海外の貧困集中地域における対策やまちづくりについて共に考えること

【対象者】 一般市民・学生・研究者・公務員・ジャーナリスト等々で、事業の目的(上記)を理解していただける方

【方法】 実施団体のスタッフ(通常は、漫画「カマヤん」の作者・ありむら潜)が地域をガイドし、この街に住んでいる人々の暮らしぶり、人々が取り組んでいるさまざまな活動や課題について体感します。「人生の語り部」となった元労働者(日雇い仕事や野宿経験のある単身高齢者で、生活保護受給中の方が多い)の方々との懇談も組んでいます。所要3時間半程度

スタディ・ツアー 実施状況

年度	回数(≒団体)	参加(人)
2004(後半)	14	78
2005	23	238
2006	29	293
～途中省略～		
2013	48	392
2014	25	263
2015	30	381
2016	29	491
2017	23	318
2018	38	436
2019	34	493
2020	37	419
2021	19(OL 7)	168(OL102)
2022	16(OL 3)	188(OL95)
2023	23(OL 1)	260(OL28)
2024	74(OL1)	626(OL13)
2025	60(OL 0)	520(OL 0)
2004～2025	636	6,771人 (OL:オンライン)

*2023年4月以前は「釜ヶ崎」スタディツアーのみ実施。それ以後は「新今宮」スタディツアーも追加実施(統計算入) OL:オンライン

【参加者像】 大学生(ゼミごとの場合も)・院生・留学生、行政関係者、福祉・医療・介護従事者、学校の先生グループ、人権問題グループ、建築家やまちづくり NPO、国連機関日本事務所(WHO)、JICA、外国領事館、ホームレス文化芸術支援 NPO、途上国支援日本 NGO、日本研究外国人、ジャーナリスト、地方議員団、生協、労金、僧侶グループ、環境系雑誌、ボランティア主婦……etc

【参加後の感想】

「行ってはいけない街と言われて育ったが、参加してよかった」「街や人のイメージが全く変わった。安全で、つながりづくりを大事にしている」「知ることがまず自分が釜ヶ崎にできる貢献だと思った」「生きるための工夫や手助けがされていた」「インクルーシブでレジリエントなまちづくりが模索されている」(菘まちだより 2018年11月号などに特集)

【参加費】 3,000円/人+(報道関係者研修コースは別途2,000円/人)

*事業維持費、資料費、人生の語り部=単身高齢者の方々へのお茶代、地域の困窮者支援諸団体への寄付金(還元金)等として申し受けます。

*留学生を含む学生さんなど経済的配慮の必要な方々は割引相談に応じます。オンライン版は今のところ双方協議のうえで決めています。

【最低遂行人員】 3人(2人以下の場合には他団体の日程に合流してもらう場合あり。ご相談ください)。最大は条件付きで30人程度まで可。

【その他オプション事例】 高齢者の紙芝居劇グループ「むすび」とも連携しています。上演見学&懇談希望の場合は仲介します。所要45分。こどもの里へもつながります。所要30分から。(各受け入れ先へ別途謝金(資料印刷代等)をお願いしています)

【実施曜日・時間】 なるべく日曜日以外の午前・午後(平日歓迎)

お問い合わせ & お申込み:新今宮 LLP (新今宮エリア魅力向上有限責任事業組合)

メール wonder@shin-imamiya-osaka.com または arimura1000@gmail.com (ありむら潜)

*氏名(団体)や連絡先の他に、実施希望日(できれば複数。平日参加の可否も)、おおよその参加人数等を予めお知らせください。

〒557-0002 大阪市西成区太子 1-4-2 太子中央ビル203号

菘之茶屋地域周辺まちづくり合同会社内 (ツアー専用電話)090-9283-7252

